

新春企画

町長×議長 新春対談

新春企画

町長×議長 新春対談

# 謹賀新年

「すみよいまち」へ前進する



須恵町議会議長  
松山 力弥

須恵町長  
平松 秀一

「安心して暮らせるまち」を目指す



## ❖ 昨年1年を振り返って

**町長** 昨年は、見えない敵 新型コロナウイルスと戦った1年でした。2月に福岡でも初めて新型コロナウイルス感染症の罹患が確認されたことを機に、世間が一気に外向きから内向きに変わったことを思い出します。

社会全体が先行きの見えない不安を抱える中、町民の皆さんに安心して生活してもらうためにはどうしたらよいか思索し、皆さんの心をほぐし喜んでもらえる事業として、「小規模事業者応援給付金」や「生活支援商品券」などを実施しました。実施にあたり、議会にも協力していただいたため、円滑に事業を進めることができました。

また、町民・事業者の皆さんへの新型コロナウイルス対策支援を充実するため、7月の機構改革で新型コロナウイルス対策室を創設するとともに、保健衛生部門の強化を図るため、健康福祉課を福祉課と健康増進課の2つの課に分けました。昨年を振り返ると、新たなことにチャレンジする1年だったと思います。

**議長** 議長としての1年目はすべてが初めての勉強の年でした。

昨年2年目は、新型コロナウイルス感染拡大により、議長としてのご挨拶の機会も少なく、これまで通りとはいかない新たな一年となりました。

感染拡大防止のため、議会傍聴を自粛していただくなど、町民皆さんにはご迷惑をおかけしました。

また、目に見えないウイルスと終息しない感染状況に、不安や恐怖、期待や希望とさまざまなものが入り混じる中、我慢が続けられ、議会に対してご理解をいただいた町民皆さんに、心から感謝しています。

人も企業も、これまで自然災害やリーマンショックなど、いろいろな壁を乗り越え大きくなってきたと思います。

今回も、コロナを乗り越え、より一層活力あふれる世の中になることを願っています。

須恵町議会としては、令和元年の改選により、新任議員の割合が3割を超える中、議員それぞれが、議案に対する討論や一般質問、研修など、研鑽を重ねることで、町民皆さんの意見を町政に反映させ、今後の議会を担うための「議員力」が向上してきたことを議長として嬉しく思います。